

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名 NPO法人市民共同学習プロジェクト子どもひろば

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

子どものいのちを守りこころを育てる出前授業プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

今日、街では子どもを狙った様々な事件が多発する一方、子どもの暴力行為や学校でのいじめも深刻になっています。保護者の不安は高まるばかりですが、子どもを取り巻く環境の変化は著しく、家庭や学校だけでは十分な対応ができない状況です。そこで、子どもを被害者にも加害者にもさせないための予防教育をNPOが実施することにより、問題の深刻化を防ぎ、子ども達が自分のことも周りの人のことも大切にできるようになることを目指します。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

当会スタッフが保育園や小学校等を訪問し、子どもへの出前授業や保護者研修を30回実施しました。内容は、街で出会う様々な危険から自分の身を守るトレーニングをするもの、誰もが持っている権利について考えるもの、いじめ防止プログラム、ネットや携帯電話との上手な付き合い方を考えるもの等です。参加した子どもには当会の連絡先が書かれたカードを配布し、相談を手紙やメールで受け付けました。保護者に対しては、子どもを取り巻く様々な問題の社会的背景を伝え、思春期を見据えた子育てのヒントとなる情報を提供しました。また、子どもの心理を学ぶため、専門家によるスタッフ研修も行いました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

ロールプレイを中心とした構成により子どもの主体性を引き出し、心と体を通じて学ぶプログラムにしました。また、可愛いイラストが描かれたパネルを使って温かい雰囲気をつくるとともに、本物そっくりに作ったドラッグの見本といったリアルな素材も使い、子ども達をハッとさせる工夫を取り入れました。

子ども達からは「これから嫌なことがあったら人に言える勇気を持たた」、「友だちにいじわるしたら、うんと悲しいことがわかった」、「人の権利をもう二度とうばわないよう努力する」等といった声が挙がり、いじめや犯罪から自分を守る力が身につくだけでなく、友だちのことを大切にできる思いやりの心を育むきっかけにすることができました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

今日の教育は高みを目指すことに重点が置かれ、早期教育や受験競争などが盛んに行われています。しかしどんなに高みを目指しても、子どもに「生きる力」が備わっていなければ砂上の楼閣です。子どもの生命力の源を豊かに耕すことで、様々な危機やストレスを乗り越え、自分の人生を切り拓いていく力が育まれます。これはすぐに効果が出ない地味な作業なので、忙しい現代ではとかく忘れられがちです。しかし、目に見えない根っこ部分がかけがえのない命を支えている事実には多くの子どもや保護者が気づいてくれることを願い、社会教育を担うNPOとして力を尽くしていきたいと思っています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

